ひなどり

園だより　４月号
令和５年４月１０日
新潟市立新津第三幼稚園

「さくらのお話」

園長　　川合　千尋

あたたかな日差しの中で，桜の花がきれいに咲いて，新津第三幼稚園が，新しい園児１１名を迎え，３１名で令和５年度をスタートしたことを応援してくれているようです。

桜の花の開花には，「600℃の法則」というのもがあり，２月１日からの日々の最高気温を足して 600℃になる 頃に桜が開花するというものだそうです。「暖かい気温のエネルギー」をしっかりと蓄えて，あの見事の花を咲かせるのでしょう。

子どもたちにとっての「暖かい気温のエネルギー」に変わるものは何でしょう？つまり，子どもたちが「花を咲かせる」＝「元気に活動する」ために必要なエネルギーということになります。

「温かい声かけやはげまし」「安心できる居場所」「なかよしのお友達」「肌で感じるぬくもり」「おなかいっぱい元気になれるおいしいもの」などなど，数え上げればたくさんあります。逆に言えば，そうしたエネルギーを必要なだけしっかりと与えなければ，「花」は咲かないと言うことにもなります。

子どもたちはきっと，各ご家庭で，たくさんのそうしたエネルギー蓄えて第三幼稚園に登園することでしょう。そんな子どもたちをお預かりした園では，さらに次の花を咲かせるために，いろいろなことに触れて，感じて，考えて，体験できる活動を次のエネルギーとして与えていきたいと思います。そして，大きく個性豊かに，まさに色とりどりに成長をしてほしいと願っています。そんな成長に寄り添えることは，私たちにとってこの上ない喜びでもあります。

一人一人の子どもたちが，元気に豊かにそれぞれのきれいな花を咲かせることができることを願いながら今年度も職員みんなで力を合わせていきます。
どうぞ，よろしくお願いします。